

海上の森自然観察会

テーマ 春の兆しを探してみよう

日時 2015年2月21日(土) 10:00~14:45 (曇り/晴)

参加者 一般:3名(子ども0)

指導員:8名

今日は気温も上がるという予報で、風もなく穏やかな日だったので、物見山方面に向かいました。

テーマの「春の兆しを探してみよう」にふさわしく、駐車場の近くで春を感じさせるウグイスのきれいな囀りが流れてきました。

駐車場手前の道沿いにある2本のマンサクは少数の花をつけていました。樹勢が弱っているのか、年々、花の数が減っているようで、心配です。アセビやヤマウグイスカグラ、スズカカンアオイの花も咲いていました。この時期には花粉を媒介する虫なども少ないので、これらは花の咲いている時期が長いということです。

Gさんが道路沿いの木に産み付けられているシジミチョウの卵を紹介してくれました。アラカシの枝の先端の芽に1個ずつ産み付けられているのはミズイロオナガシジミの卵の可能性があるということでした。少し進んだ所にあるイボタノキの幹にはクロゴマダラシジミの卵がかたまつて産み付けられていました。ルーペでそれぞれの卵の形状を観察しました。

物見山に続く林道の途中でマヒワの10数羽の群に会いました。オオバヤシャブシの実をつついていところが観察でき、雄と雌の色の違いがよく分かりました。

展望台手前のダンコウバイは、まもなく開花という状態に膨らんだ蕾もあり、来月は満開になっているものと思われました。

物見山展望台で昼食をとり、瀬戸大正池方面に向かいました。池の畔の柳の枝には、コムラサキの幼虫がじっと越冬を続けていました。

海上の里のサテライト付近で少し雨が降ってきたので、トイレ休憩の後、急ぎ足で帰途につきました。(報告:齋竹)
<その他観察できたもの>

鳥:ノスリ、アオジ、ベニマシコ、ヤマガラ、シジュウカラ、エナガ、メジロ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、コゲラ、ホオジロ、モズ、カケス、 虫:ジャコウゲハ(蛹)、シロフフユエダシヤク、ヒメアカボシテントウ、 花:ヤブツバキ、オオイヌノフグリ



(観察会のようす)



(クロゴマダラシジミの卵)